

平成28年度天皇杯受賞者受賞理由概要
蚕糸・地域特産部門

最高級畳表の生産による熊本県産畳表のブランド化への貢献

○氏名又は名称 早川 猛・早川 克美

○所在地 熊本県八代郡氷川町

○出品財 経営（いぐさ）

○受賞理由

・地域の概要

氷川町は、熊本県南部に位置し、町の中央部を東から西へ氷川が流れ、東部に山林、丘陵地帯、西部には不知火干拓地をはじめとした平坦地帯が広がり、豊かな自然を生かした果樹や野菜などの農林業が基幹産業である。いぐさ栽培は昭和初期から行われ、中央部から不知火干拓地にかけては水稲とともに産地を形成している。

・受賞者の取組の経過と経営の現況

早川氏は、いぐさ栽培・畳表加工と水稲（もち米）栽培をしており、平成26年の耕作面積は、いぐさ1.8ha、水稲（もち米）1.8haである。また、先進技術を積極的に取り入れ、熊本県のいぐさ奨励品種「ひのみどり」を用いた最高級畳表を生産している。経営の重点を高品質の畳表生産に置くことで高所得率を確保している。

・受賞者の特色

(1) 高品質の畳表製造

高品質のいぐさを生産するために、水稲（もち米）を輪作体系に組み込み、連作障害を予防している。畳表を製織する工程では、原草選別に用いる「色彩選別機」をいち早く導入するほか、「ロール型傷防止板」を考案・実用化し、乾燥機の「反射板」を共同開発するなど、機械の積極的利用と改良を進めた。また、自ら織機等のメンテナンスを徹底して行っている。これらの取組により高品質で均質な畳表の生産を可能にした。

(2) 熊本県産畳表のブランド向上

平成21年に京都「相国寺」方丈の畳改修が計画された際には、これまで用いられていた「備後表」に代わり早川氏の畳表が納められることとなった。これにより八代の畳表が「備後表」と並ぶブランドであることを認知させた。

(3) 女性の活躍

妻の克美氏は、畳表の製織に携わり最高級畳表の生産の一翼を担っている。また、消費地の畳店経営者に対し、いぐさの刈取や畳表の製織などの体験研修を行う際には主として対応に当たるなど、熊本県産畳表のPR・振興に貢献している。

・普及性と今後の発展方向

地域のいぐさ農家等に対しては、自らが研鑽して習得した栽培・加工技術を伝授することで技術を未来へ繋ぎ、さらに高めてもらう取組を行っている。

また、消費地の畳店経営者を積極的に産地へ受け入れ、いぐさの刈り取りや畳表の製織などの体験研修を行うとともに、いぐさ・畳表の伝統と文化を消費者へ伝える機会においては、自らが赴き、消費者へのPRを行っている。このように産地と消費地の交流を図ることで、八代産畳表のブランド価値向上と消費拡大を図っている。